

外部評価軽減要件確認票

| | |
|-------|-------------|
| 事業所番号 | 2372002309 |
| 事業所名 | グループホームふくろう |

【重点項目への取組状況】

| | | |
|-------|---|---------|
| 重点項目① | 事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 平成26年3月には地域の信用金庫に、利用者が描いた日本画を展示させてもらっている。笑いヨガやフラダンスなど多岐に渡るボランティアの受け入れをし、保育園、中学生、高校生など年齢も幅広く交流をしている。また、ふくろう祭りには地域の人の参加が多数あるなど地域に根付いている事業所である。 | 評価 ○ |
| 重点項目② | 運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 会議は、年6回開催し利用者家族を含め多数の参加がある。会議の中で出席者から介護保険に関することや、介護施設の対応の仕方の相談を受けることがよくあり、職員は丁寧に助言をしている。また、豊橋人権擁護委員会による高齢者虐待や、人権相談などについて、グループ検討会を行うなどさまざまな議題を提供して意見交換をし、今後の運営に反映している。 | 評価 ○ |
| 重点項目③ | 市町村との連携（外部評価項目：4） 日頃から市役所担当者とは、介護保険制度に関する事で、情報交換をしており連携はできている。他に 地域包括支援センターと合同で、健康体操教室を開催している。 | 評価 ○ |
| 重点項目④ | 運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族とは、面会時、ケアプラン作成時、運営推進会議、事業所の行事などで話す機会が多い。家族が困っている事、心配な事など職員と話し合っており、信頼関係を築いている。家族からは感謝の声が多く職員との関係も良好である。また、行事の時の利用者の笑顔の写真入りのはがきを送付している。 | 評価 ○ |
| 重点項目⑤ | その他軽減措置要件 | 評価 |
| | ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 | ○ |
| | ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 | ○ |
| | ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。 | ○ |
| 総合評価 | | ○ |

【過去の軽減要件確認状況】

| | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|------|
| 実施年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 |
| 総合評価 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ◎ |

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

| 外部評価項目 | 確認事項 |
|-----------------------|---|
| 2. 事業所と地域のつきあい | (例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。 |
| 3. 運営推進会議を活かした取組み | (例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。 |
| 4. 市町村との連携 | (例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。 |
| 6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映 | (例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。 |

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。